

まちづくりチャレンジ協働事業報告書

| | | | |
|---------|---------------|------|-------------|
| 協働事業の名称 | えにわ若者応援プロジェクト | | |
| 団体名 | えにわ若者応援プロジェクト | 実施場所 | 北海道文教大学講堂 他 |
| 担当課 | 企画振興部 企画課 | | |

| | |
|---|--|
| 協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。 | <ul style="list-style-type: none">●第1回 6月26日 : ふるさと公園ロータリー●第2回 7月31日 : ふるさと公園ロータリー●第3回 9月26日 : 恵庭図書館本館第二駐車場●第4回 10月23日 : 北海道文教大学講堂●第5回 11月28日 : 北海道ハイテクノロジー専門学校校内●第6回 12月19日 : 北海道文教大学講堂●第7回 1月22日 : 北海道文教大学講堂●第8回 2月20日 : 北海道文教大学講堂●第9回 3月26日 : 北海道文教大学講堂 <p>恵庭市内の大学・専門学校に通う学生や若者に対し、食材や生活物資を毎回80前後配布した。当日受け取りが出来ない方には個別に対応し手渡した。</p> |
| 協働事業の成果 ・事業内容の成果 ・協働で取り組んだことの効果 等 | <p>団体の成果</p> <p>新型コロナ感染の影響により、学生・若者の生活困窮や人との繋がりの希薄化が問題となる中で、「生活が大変なときに本当に助かった」という多くの声や「もううだつでなく自分も主催側で関わりたい」という学生・若者の参加もあった。</p> <p>また、団体メンバーだけでなく、学生・若者、市民ボランティア、市役所職員ボランティアが事業に参加したことを通じて、顔の見える関係性がより高まった。</p> <p>担当課との協働により、市内大学・専門学校とのやり取りがスムーズとなり構内での配布が出来た、市内企業から物資の提供を頂けるようになった等の効果があった。また、食品の購入補助があったことで、物資の安定的な配布が可能となった。</p> |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>担当課の成果</p> <p>コロナ禍により学生の生活は大きく変化し、人と人とのつながりを感じられにくくなっている中、本事業を通じて地域の人々とのつながりが生まれました。団体のメンバーそれぞれがネットワークや行動力を生かして取り組み、本事業は行政単独では実現できない内容であったと感じています。</p> |
| 協働事業の実施時に おける役割分担 | <p>団体の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成、LINEによる情報発信、予約対応 ・物資仕分け、提供物資の受け取り ・事業当日の物資運搬、会場設営、物資配布 ・当日受け取りが出来ない方への個別受け渡し対応 <p>担当課の役割</p> <p>学校との調整、協力企業への橋渡し、運営のサポート、不足物資の提供</p> |
| 次年度以降の見通し と課題 | <p>団体として</p> <p>団体としての定期的な物資配布はいったん終了の形を考えている。ただ、学生・若者の生活困窮や人との繋がりの希薄化の課題がなくなつたわけではなく、これまでの活動で得たつながりを活かし、今後の若者への関わり方や援助の在り方を考えていく。</p> <p>担当課として</p> <p>コロナ禍の学生支援について検討していく中で、今回の協働事業での取り組み方を参考にしていきたいと考えています。</p> <p>共通して</p> <p>物資援助を必要とする学生・若者に対する援助の在り方、実施主体に関して検討する必要がある。</p> |

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

*自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

4…できた（非常にあった）

3…概ねできた（あった）

2…あまりできなかった（あまりなかった）

1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

| 項目 | 評価者 | 評価 | 1 や 2 の場合、その理由 |
|---------------------------------------|-----|----|----------------|
| 課題や目的を共有することができたか | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 4 | |
| 目的は達成できたか | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 4 | |
| 計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等) | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 3 | |
| 市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等) | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 4 | |
| 互いの役割分担はしっかりできたか | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 3 | |
| 協働で事業実施をした効果があったか | 団体 | 4 | |
| | 担当課 | 4 | |

様式第14号(第10条関係)

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称：えにわ若者応援プロジェクト

1 収 入

(単位：円)

| 項目 | 金額 | | 説明(積算等) |
|----------|---------|---------|---------------|
| | 予算 | 決算 | |
| まちチャレ助成金 | 100,000 | 100,000 | |
| 負担金 | | 3,530 | えにわ若者応援プロジェクト |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 100,000 | 103,530 | |

2 支 出

(単位：円)

| 項目 | 金額 | | 説明(積算等) |
|-------|---------|---------|-------------------|
| | 予算 | 決算 | |
| 印刷費 | 20,000 | 36,659 | チラシ印刷、ロゴマーク・デザイン料 |
| 消耗品費 | 25,000 | 34,275 | レジ袋、衛生用品、養生テープ他 |
| 広告宣伝費 | 30,000 | 31,350 | のぼり、チラシ配布 |
| 会場使用料 | 25,000 | 0 | |
| 通信費 | 0 | 1,246 | 切手 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 合計 | 100,000 | 103,530 | |

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。



